環境共生地域学特論Ⅱ（2 単位）

担当者氏名　　板垣啓四郎

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

主として開発途上国を中心にして、農業・農村の実態を踏まえつつ、その成長と発展に必要な処方策を考究していく。また、その内容が受講者の学位論文の理論的基礎となるように習得してもらう。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

途上国の農業・農村開発　食料・資源問題　経済と農業の開発戦略　途上国間の農業の特徴
貧富の格差　ジェンダーと開発　経済機会へのアクセス　農業主体

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1.2.3	農業開発の諸理論と戦略	途上国農業開発の諸理論と開発戦略を学ぶ。 同上 同上	指定したテキストにしたがって､講義を進めるので､次回の授業の範囲について予習をしておく。
4.5	研究、普及および教育	途上国における農業研究の仕組みについて学ぶ。 農業研究の普及と人材開発について学ぶ。	
6.7	土地と労働の市場	途上国の土地制度と土地市場について学ぶ。 途上国の労働制度と労働市場について学ぶ。	
8.9	投入財と信用の市場	投入財の種類と効果、投入財市場について学ぶ。 信用の種類と効果、信用市場について学ぶ。	
10･11	価格政策と流通システム	途上国の農産物価格政策について学ぶ。 途上国の農産物流通システムについて学ぶ。	
12･13	ディスカッション（1）	途上国の農業・農村開発について議論する。	
14･15	ディスカッション（2）	途上国の農業・農村開発について議論する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

農業開発の経済学　G.W.ノートンほか著　板垣啓四郎訳　青山社（2012 年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート 30%、課題 70%

◆オフィスアワー

毎週水曜日の 3 次限（13 時～14 時 30 分）

◆その他受講上の注意事項